

1

洪水が起きないようにする



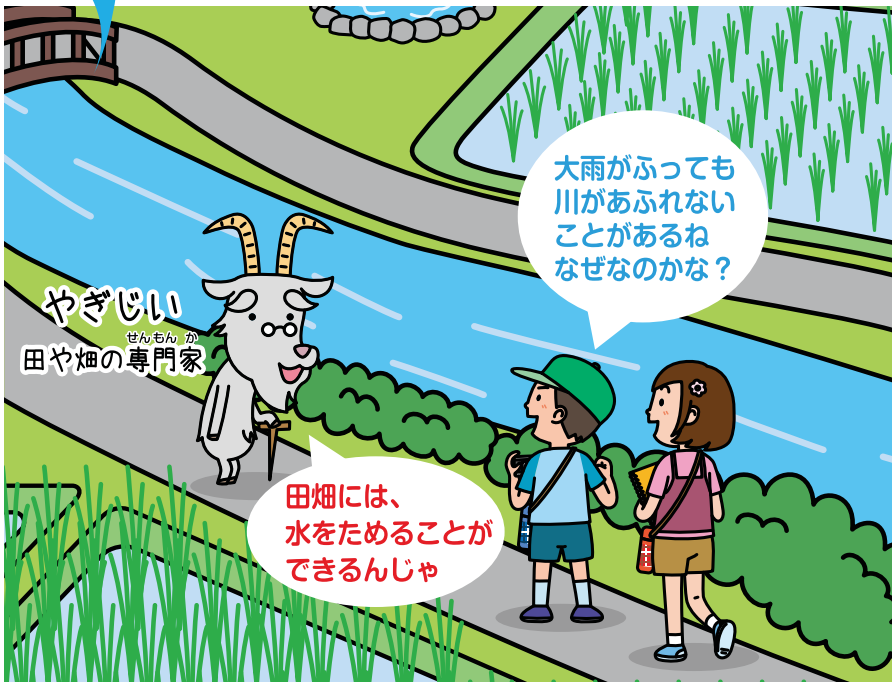
～田畑に水を一時的にためることができる～



そ
川沿いを歩いていると、大雨がふったときに、近くの川が
あふれてしまったことを思い出しました。



こんにちは



田は水をためられます



畑の土は水を吸収します

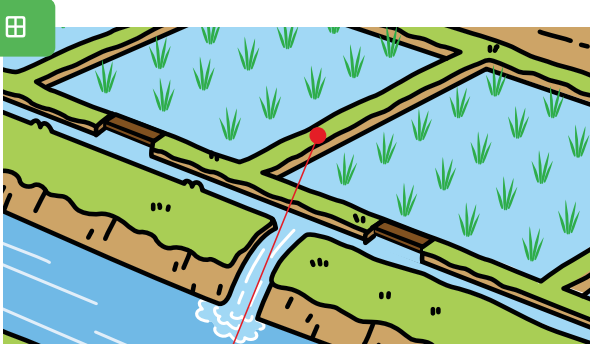


解説

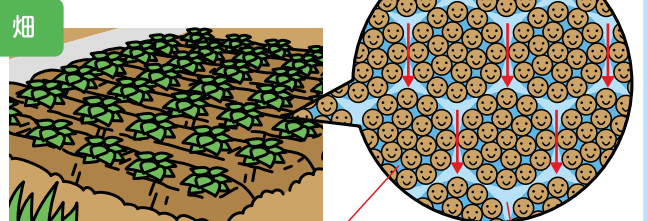


田畑は、水を一時的にためることができます。

田は周りをおでで囲まれているため、また畑は土のすき間が多い
ため、水をためることができます。このため、洪水を防ぐことにも、
役立っています。



田はおでで囲まれているので、水をためることができます。



小さなすき間には
水がそのまま残ります

大きなすき間では
水が流れます

畑の土は、大きな団子の中に小さな団子がたくさん
入っているような構造です。雨がふったとき、小さな
団子のすき間に水がたまりま。



う～ん!? 水をためることができるといっても、どのくらいの量をためることができるの?

A

解説

大雨がふった時に田に余分にためられる水量は、全国で約 50 億 m^3 (※1) になるともいわれています。これは東京ドーム(124万 m^3)(※2)の約4,000杯^{はい}に相当します。

大雨がふった時に田にためられる水量は、



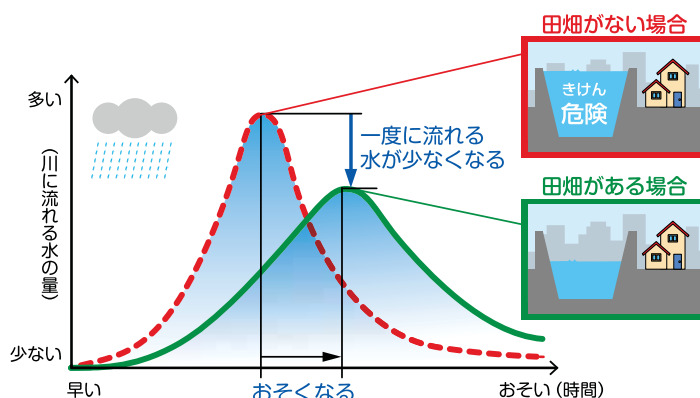
=



※1) 日本学術会議『地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価について(答申)』(平成13年11月)及び関連付属資料
※2) 東京ドームシティホームページ

雨がふったときの川に流れる水量の変化

田畑のある場所では、雨水をためることができるので、一度に川に流れる水の量を減らすことができます。



あおいのメモ帳 1

こう水を防ぐ



【まとめ】

- ・田畑は雨水を一時的にためる(東京ドーム4,000はい分)
- ・ためられた雨水は、時間をかけて川へ流れる



やぎじいからササをもらった。

こう水を防いでくれる